

障がい福祉サービス従事者 からの声

令和元年5月18日

障がい福祉サービス従事者・介護支援専門員合同事例検討会

障がい福祉サービスと介護保険サービスの 導入時のスピードは違う

●介護保険サービスは見込みでサービスを入れるが、障がい福祉サービスは基本的に見込みでは入れない。

居宅介護や生活介護などをすぐにスタートしたくても、審査会で区分が出てからになるため後手になることもある。

同じようなサービスでも障がい福祉サービスと介護保険サービスでできる支援内容に差異がある

●介護保険サービスでは、デイサービスで入浴支援が多いが、障がい福祉サービスでは居宅介護を利用して在宅での入浴支援もよくある。

お互いにサービスを調整するときにイメージにずれが生じてしまう。

● 包括が支援に入っているケースで、そのお子さんが家に引きこもっている等で精神疾患を含めて障がいではないかと支援の必要を感じて相談支援事業所に連絡をくれる事が多い

● 動けるスピードややれる範囲にお互いのイメージにずれがあり、期待に応えられない事がある。お互いの動きや状況を知り合えると連携がしやすいかもしれない。



介護支援専門員 からの声

令和元年5月18日

障がい福祉サービス従事者・介護支援専門員合同事例検討会

「障がい福祉サービス」から 「介護保険サービス」への**制度移行**

- 65歳を迎え「障がいサービス」から「介護保険サービス」へ移行するにあたり、混乱される利用者さんを上手に説明していく難しさを感じている。

相互理解・連携について

●介護保険を利用されるご家族に障がいをもつ息子さんを支えている方がいらっしゃいます。

直接かかわることはありませんがお話を伺ったり訪問時に様子を見させていただいたりしています。相互理解・連携について考えていきたいと思っているのでアドバイスを頂けたらと思います。

サービス供給対象

●以前沼津市で介護保険利用者（65歳以上、障害者手帳有）が障がい福祉サービスでヘルパー利用について相談したところ、「65歳以前から利用していないと供給対象にならない」というニュアンスの説明を受けたため申請しなかった。沼津市での実際と他市町村の状況を知りたい。